



りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第108号

2016年（平成28年）1月 発行：住民の会広報委員会 電話：729-0617 発行責任者 塚本誠子

新しい年を迎えて

ケアセンター成瀬住民の会
会長 佐藤 康夫



昨年は五輪エンブレムや有名楽曲の歌詞の盗作、大型マンションで発生した杭打ちデータの改ざん、又、海外ではパリでの同時多発テロ等、暗いニュースがある中で、ノーベル賞の二人同時受賞や話題の五郎丸ポーズ等明るいニュースもありました。

その様な中で身近な課題として昨年11月にマイナンバーの通知が届きました。「行政の手続き簡素化」による税の徴収や社会保障等の限られた分野での活用で、本年よりスタートすると認識しておりますが、「個人番号カード」を作成すべきか？悩むところです。個人情報情報の漏えい等が憂慮されることから、もう少し実施状況を見極めてからの行動が得策かと思えます。

いづれにしても、行政を始めとする各部署の管理不

十分による諸トラブルの防止政策の強化を願うばかりです。

さて住民の会の活動も会員及びご家族の皆様のご協力と本年で23年目を迎えることとなりました。

昨年11月には住民の会のメイン行事となつています恒例の「ケアセンター成瀬まつり」が開催されました。まつりの内容は「りんご箱」の号外で報告されていきますが、特筆すべき事はバザー用品を提供される会員の方々から「届けることができないので、回収にきてくれないか？」という要望が例年になく多かつた事です。今後はより幅広い活動の展開としてこの現状を受けとめ、諸活動に活かして行きたいと思えます。

住民の会の活動目標は引き続き会員の拡大です。ど

んな組織でも、活性化には、新しい会員の方のアイデアと行動力は不可欠です。そのため、ボランティア活動や各委員会活動への入会前のお試し体験に昨年度より取り組んで、一定の成果をあげています。ぜひ、友人、知人の方々に、諸行事を通じて当地域でコミュニケーション情報を発信し続ける住民の会への入会を勧めてください。

次の目標は後継者の確保と育成です。役員を始めと

して、ボランティア、各委員会の諸活動の企画運営等で、特定の方に全責任を負わせる事なく、複数の方々が「次は私に任せて」との精神で活動していただけたらと思えます。

今年は役員改選の年です。向こう二ヶ年の諸活動を託す役員の選出にご協力とご指導をお願い致します。最後に、本年が会員並びにご家族の皆様のご多幸とご健勝の年でありますよう、お祈り申し上げます。

第23回（平成28年度）

通常総会のご案内

日時 平成28年4月24日（日）

午前10時～12時

場所 ケアセンター成瀬

地下デイサービスフロア





暖冬の名残で薄日の差す穏やかな午後、ケアセンター成瀬地下デイサービスフロアにて新春交流会が開かれました。参加者は約80名。住民の会員にとつて年頭恒例の楽しみであるこの催しも今回で13回目です。田中邦夫実行委員長をはじめスタッフ一同の準備のお蔭で、会場はまだまだお正月の雰囲気 が漂う華やかで暖かな空気に満たされました。

元氣よく乾杯した後はテーブルいっぱいのご馳走を囲んで歓談。毎年好評の小竹さん特製アツアツおでんは今年も大人気で行列ができました。

新春交流会 Jan. 17

今年も和やかに開催される



そしてお待ちかねの演芸が始まり、まずヴィオラと琴の演奏が披露されると優しく風雅な響きに会場全体がうっとり聴き惚れました。



ヴィオラの川口彩子さん
琴の住吉萩智巴さん

続いての民謡では昨年引き続き相模原「めぐみ会」の子供達が登場。山口先生のご指導のもと可愛らしい踊りを披露してくれました。そして常連の永瀧武臣さんも越中おわら節を熱演。続く東京音頭には会場からも飛び入りで踊りの輪に

加わる人が多く大いに盛り上がりました。



永瀧武臣さん

演芸のラストはダンケムジークの会の長谷川淳子さんの歌と霜浦百合子さんのピアノ伴奏で全体合唱。お馴染みの富士の山などを皆で声を合わせて歌いました。



長谷川淳子さん

注目のビンゴ大会では花鉢や漬物などの豪華景品を手にした人達の歓声が次々にあがり、皆大興奮。歌ったり踊ったり新年の幕開けに相応しい交流会は笑顔いっぱいのお開きとなりました。

ボランティア親睦会開かれる

平成27年12月6日(日)



どんなご馳走でしょう。わくわくしながら二段重ねのお弁当を開けると、色とりどりのおかずがいっぱい。さあ、会食&歓談の時はです。

「暖」手作りのお汁粉を美味しく頂く頃合いを見計らって、創和会によるパワーポイント「ケアセンター成瀬・暖家のこの一年」を鑑賞。これは特別養護老人ホーム暖家の一年間を振り返ったもので、四季折々の楽しいイベントを中心に、お看取りまでもまとめた力作でした。

その前に、共催している住民の会、創和会、NPOアップルサービスのご挨拶があり、それに続いて乾杯をしてボランティア親睦会は始まりました。参加者は54名。



そして、デイサービスとヘルパーズセッションの報告もパワーポイントで行われ、引き続き各委員会、ボランティアグループの紹介など和やかに進行了ました。

こうしてボランティアに係わる皆さまの労をねぎらい更にお互いの理解と交流も深め、一年の締めくくりにあふさわしい親睦会になりました。

(ボランティアグループ
代表 永井まち)

ダンケムジーク 第56回コンサートを終えて

実行委員長 植松 眞知子

教授のゼミを取っている学生さんたちで、美しきフルーティストやヴァイオリニストも加わり、プログラムはバラエティに富んだ内容となりました。

しかも出演者は洗足音大で勉強中の若者ばかり。ギターリストでもある原善伸



11月1日(日)、秋晴れの午後のひととき。今回は「クラシックギター」のソロ演奏を、たっぷり聴いていただこうという、ダンケムジークとしては、初の試みのコンサートでした。

クラシックギターの定番「禁じられた遊び」「アルハンブラの想い出」を始め、「アナ雪」あり、ピアソラやジョビンの曲あり、日本の童謡ありで、会場を大いに湧かせてくれました。

本当は原教授のレクチャーが入る予定でしたが、直前に体調を崩され、やむを得ず「ルネサンスから現代まで」というタイトルにそぐわない内容になってしまった部分があったことを、お詫び申し上げます。



第一部、第二部を通して、たっぷりギターの音色を楽しんで下さったお客さまたちは、きつと我が子や孫を見るような気持ちで、温かく見守って下さっていただいていたと思います。



クラシックギターは音量が出せない楽器ですが、物音ひとつ立てず演奏に集中して聴いて下さったお客さま方に感謝申し上げます。

「ぶどうの会」は介護現場で活動するボランティアグループです。現在約50名が活動しています。

特養では台所仕事やシツ交換、傾聴など、デイでは朝のお茶出し、午後の趣味活動、くもん学習療法などです。いずれも責任ある仕事なので、ボランティアといえども創和会の一員としての自覚が求められます。そのため研修会や職員との意見交換の場を持つ必要があり、年一回は研修会兼懇談会を開いています。

今年度は昨年11月24日に開かれました。

ボランティアの出席は、13名。職員は川尻施設長はじめ特養の大木主任、デイの星野主任(途中より笠原常勤職員に交替)、総務管理課より近江職員が出席。また「住民の会」の佐藤会長が参加されました。

冒頭、施設側から異口同音にボランティアへの感謝の意が伝えられ、大木主任

ぶどうの会研修会の報告

ぶどうの会 代表 永尾陽子

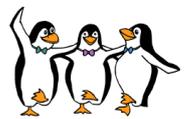
からは「ボランティアの皆さんは女神様に見えます」との言葉が…。特養でボランティアがいかに必要とされているかが窺われます。

研修会はまず「ボランティア心得」を一項目ずつ読み上げ内容を確認しましたが、特に「個人情報の秘密保持」に関しては「シニアカフェ花みずき」でのボランティア同士のお喋りにも注意すること。「健康管理面」については、入室前の手洗い・うがいの励行、インフルエンザワクチンの積極的接種など。また自身の健康にも気を配り、体調不良の時は参加の可否を必ず現場に相談することを確認。次いで職員との懇談では、ボランティアから現場に対して厳しい意見や疑問、苦情などがあれこれ出されましたが、双方のよりよい協働関係を築いていく上で虚心坦懐の意見交換は大事だとの感想を持ちました。

ボランティア募集中!

日帰りバス旅行 10 / 21

鈴木 兎雪



住民の会の日帰りバス旅行に参加させていただきました。行き先は「エブソンアクアパーク」。7月にリニューアルした品川プリンス内の水族館です。

音と光に包まれたクラゲの部屋、美しい熱帯魚たち、悠々と泳ぐエイやノコギリザメ、棒立ちのペンギン達、眠いカピバラ…。1時間ほど水族館を一巡り鑑賞しました。

昼食は品川プリンスホテル内「孫悟空」で中華バイキング。27種類のご馳走を思い切り食べられて幸せ！大盛り6皿食べた上「アイヌがもう一つ食べたかった！」と悔しがる人もいて、お腹いっぱい、愉快いっぱい昼食会でした。午後はイルカショーへ。光と音と水の演出とイルカ達のダイナミックなパフォーマンスを満喫しました。「前

列はずぶ濡れになります」の注意を聞くや否や、厨房組の私達4人(暖…高綱・太田・石部・鈴木)はレインコート調達。一番濡れると教えられた場所に陣取って、靴まで脱いで準備万端。イルカ達は私達にわざと尾びれで水をかけたり、ジャンプしたりしてくれて、全身ずぶ濡れになりました。年甲斐もなくキヤーキヤー大騒ぎして、潮水まみれになって大満足でした。

ショーの後はお土産を買ったり、お茶を飲んだり、各自しばしのんびり。帰路は大変順調で、「早く着いたのはオレのせいじゃない」という隊長の叫びとともに3時半ごろ無事セントーに帰ってきました。旅行を企画・主催してくださった住民の会の皆様、楽しい体験が詰まったひとときをありがとうございました。

ケアセンター成瀬 開設20周年記念懇親会のご案内

日時：平成28年3月13日(日) 12:30~15:00
場所：ホテル・ザ・エルシィ町田 地下宴会場
参加費：3,000円(チケット販売します)

- ※チケット購入・問い合わせ先
◎ケアセンター成瀬 総務管理課 Tel720-2202
◎ケアセンター成瀬 住民の会事務局 Tel729-0617
◎西嶋医院 地域連携室 Tel726-7871(代)
申し込み一次締め切り 2/13 (最終締め切りは2/29)

会費納入のお願い

平成27年度会費未納の方は下記の方法で納入をお願いします。

- 1 住民の会事務局窓口 (下記の時間帯に受付)
- 2 郵便振込
記号：00120-7-725131
名義：ケアセンター成瀬住民の会

※ ご一報くだされば集金に伺います

ケアセンター成瀬住民の会事務局

住所 町田市成瀬台3-24-1
電話・FAX 042-729-0617
ホームページ：<http://ccnj.k.com>
受付時間 月曜日～土曜日
10:00～16:30 (日曜・祝日休み)
※「ゆりの木会館」側からお入り下さい

これからの催し物(予定)

- ・第23回(平成28年度)通常総会
日時 4/24(日) 10:00~12:00
場所 ケアセンター成瀬地下ダイサービスフロア
- ・きらく会 ゆりの木会館 2/13 2/27 3/11 3/26
- ・資源回収(毎月第4月曜日) 1/25 2/22 3/28

編集後記

昨年の政権の動きは多く、若い人たちの心にも、強い不安感を与えました。現在では勿論、未来の生活についてみんなで真剣に取り組まないといけない。いまだに他人事のように日々を過ごしている人たちにどう伝えたら良いかを考えてしまいました。

戦中・戦後の苦しい時期を乗り越えて来た方々が安心して生活できるように、税金を福祉により多く向けたいと思います。

又、原発の事故による辛い生活を強いられる方が多いことにも私たちはもっと心を向けて行かなければいけないと思っています。原発事故の後始末に苦慮している現状も知らないかのように、再稼働を進めたり、国外輸出など、国民の気持ちを見ないで政府の方針に不信の念がつのるばかりですが、今年が少しでも明るい年になりますようにと祈っています。(塚本誠子)